

地球システム科学は限りある地球を有効に利用して人類の持続的発展を達成させるために必要不可欠な学問分野であり、関連科学技術に関する研究の推進は各方面から強く要請されている。当研究所は関連科学技術のうち、特に、資源・エネルギー、社会基盤整備、地下水、防災、環境保全などの分野に重点をおき、研究開発と研究成果の実際への有効利用を推進することを目指している。

当研究所は、これまで公益的事業である自主研究及び研究会等開催事業と産業界からの要請に応じて関連課題の研究開発及び技術開発等を行う研究等受託事業を積極的に実施し、多くの有益な成果を挙げ、我が国の科学技術の発展に貢献してきた。令和 6 年度もこれ等の事業が活発に行なわれ、多くの有益な成果が得られた。

以下に令和 6 年度の活動状況を示す。

[1] 理事会、評議員選定委員会及び評議員会

「令和 6 年度 第 1 回通常理事会」

令和 6 年 5 月 27 日（月）、10：00～10：30、研究所会議室、オンライン会議

出席理事：佐々宏一（代表理事）、朝倉俊弘、浦山 克、大西有三、岡村秀樹、
小池克明、斎藤 章（全員）

欠席理事：なし

出席監事：加納雅彦（全員）

事務局：安川郁夫（主事）

「令和 6 年度 評議員選定委員会」

令和 6 年 5 月 29 日（水）、16：00～16：30、研究所会議室、オンライン会議

出席委員：藤村健司（評議員）、加納雅彦（監事）、富森幸昭（外部）
安田勝美（外部）、以上 4 名

欠席委員：青木謙治（相談役）

陪席者：佐々宏一（代表理事）、岡村秀樹（業務執行理事）

事務局：安川郁夫（主事）

「令和 6 年度 定時評議員会」

令和 6 年 6 月 25 日（火）、13：00～14：00、楽友会館、会議室 1

出席評議員：大友 譲、小山倫史、西山 哲、藤村健司、渡辺俊樹、以上 5 名

欠席評議員：なし

出席理事：佐々宏一（代表理事）、岡村秀樹、斎藤 章、以上 3 名

出席監事：加納雅彦

事務局：安川郁夫（主事）

「令和 6 年度 臨時理事会」

令和 6 年 6 月 25 日（火）、16：00～17：00、楽友会館 2 階 会議室 1

出席理事：斎藤 章（代表理事）、岡村秀樹、佐々宏一、藤村健司、渡辺俊樹、
以上 5 名

欠席理事：朝倉俊弘、大西有三

出席監事：加納雅彦

事務局：安川郁夫（主事）

「令和 6 年度 第 2 回通常理事会」

令和 7 年 3 月 17 日（月）、10：00～10：30、研究所会議室、オンライン会議

出席理事：斎藤 章（代表理事）、佐々宏一、大西有三、朝倉俊弘、渡辺俊樹、
藤村健司、岡村秀樹、以上 7 名

欠席理事：なし

出席監事：加納雅彦

事務局：安川郁夫（主事）

[2] 部門研究会活動

当財団法人内には次に示す名称の部門研究会が設置されている。令和 6 年度もそれぞれの部門研究会が公益的自主研究活動及び受託研究活動を活発に実施するとともに講演会および研究会を開催した。

- 1) 地球統計学研究会
- 2) 岩盤工学研究会
- 3) 写真計測研究会
- 4) 京都地盤研究会
- 5) 地下水工学研究会
- 6) 不連続性岩盤解析実用化研究会
- 7) 地圏解析学研究会
- 8) 電磁探査研究会
- 9) ILC 計画研究会

[3] 事業

1. 自主研究及び研究会等開催事業

1) 自主研究事業

当財団が重点を置く分野に関する課題の自主研究が実施され、多くの有益な研究成果が得られ、関連科学技術の発展に寄与した。

2) 研究会等開催事業

部門研究会の一つである「京都地盤研究会」が下記 1 回の特別講演会及び 3 回の研究会を開催し、最近の関連科学技術の現状と発展に関し有意義な研究・討論を行った。

① 京都地盤研究会 第 29 回 総会・特別講演会

日時：令和 6 年 5 月 14 日（火）、午後 1 時 30 分～4 時 40 分

会場：京都商工会議所 7-AB 会議室 参加者：162 名

【特別講演会題目・講師】

15:00～16:30 「安全・安心で活力ある関西を目指して」

国土交通省近畿地方整備局 局長 見坂 茂範

② 京都地盤研究会 第 85 研究会・交流会

日時：令和 6 年 7 月 29 日（月）、午後 1 時 30 分～5 時

会場：京都商工会議所 7-AB 会議室 参加者：159 名

【題目・講師】

13:35～14:35 「斜面・土構造物の維持管理の現状と課題」

関西地盤環境研究センター 専務理事 八谷 誠

14:45～15:45 「火山砕屑物斜面における地震時の地すべり現象およびその発生・運動機構」

京都大学防災研究所 斜面末災学研究センター センター長・教授 王 功輝

15:55～16:55 「来るべき大規模災害に地域住民はどう備えればいいのか?～能登半島地震からの教訓と DX の活用～」

国立研究開発法人防災科学技術研究所 水・土砂防災研究部門

副部門長 酒井 直樹

③ 京都地盤研究会 第 86 回 研究会

日時：令和 6 年 10 月 18 日（金）、午後 1 時 30 分～5 時

会場：京都大学百周年時計台記念会館 2 階「国際ホール」

参加者：133 名

【題目・講師】

13:35～14:35 「老朽化と激甚災害に対するインフラの現状と展望」

国土交通省道路局国道・技術課 企画専門官 増 竜郎

14:45～15:45 「既存土構造物の地盤調査と近年の盛土品質管理について」
ソイルアンドロックエンジニアリング(株)調査部 部長 石井 正紀

15:55～16:55 「土砂災害に対する早期警戒・避難とその情報伝達のあり方
-地域防災の最前線-」

関西大学社会安全学部 教授 小山 倫史

④ 京都地盤研究会 第 87 回 研究会

日時：令和 6 年 1 月 31 日（金）、午後 1 時 30 分～5 時

会場：キャンパスプラザ京都 5 階 第 1 講義室

参加者：164 名

【題目・講師】

13:35～14:40 「近畿エリアにおける 2023 年末の地盤に関わるトラブル 3 事例について ～事例から学ぶこと～」

京都大学名誉教授 京都地盤研究会 会長 大西 有三

14:50～15:50 「誰にでもできる 地方中小建設業の DX と働き方 チャレンジ」
旭建設株式会社 代表取締役 黒木 繁人

16:00～17:10 「安全・安心な国土づくり」

前国土交通省近畿地方整備局 局長 見坂 茂範

更に、部門研究会の一つである「ILC 計画研究会」には 3 つの分科会が設置されて活動を行ない、下記 2 回の講演会や研究会員全体会を開催した。

① 第 3 回 IVI (ILC Vanguard Initiative) 講演会

開催日：令和 6 年 4 月 19 日、参加者数：37 名

テーマ「ILC 計画に関する最新状況」

講師：山下 (ILC の最新状況と誘致活動の見通し)

佐貫 (東北 ILC 施設計画の進展と今後の調査)

平井 (ILC 契機のまちづくりの方向性)

分科会幹事 (2024 年度 IVI 分科会活動計画案)

② 第 4 回 IVI 講演会

開催日：令和 6 年 11 月 12 日、参加者数：50 名

テーマ「ILC 計画推進の最新状況」

講師：山下 (ILC 誘致活動の最新状況)

武内 (欧州 FCC の FS のうち CIVIL 関連情報の概要)

佐貫、坂口 (建設課題関連分科会の検討状況報告)

川端、上田、高橋 (ILC 誘致を契機としたまちづくり検討の中間報告)

③ 2024 年度研究会員全体会

開催日：令和 7 年 4 月 17 日、参加者数：48 名

テーマ「ILC 計画研究に関する 2024 年度成果報告」

講師：栗木、山下 (ILC 誘致活動の最新状況)

福田、関根、岩本、坂口 (建設課題関連分科会の成果報告)

平井、上田、浅沼、栃木、高橋 (次世代まちづくり分科会の活動報告)

設置された分科会は下記のとおりである。

① 最新マネジメント分科会 (構成人数：16 名)

② 建設課題関連分科会 (構成人数：16 名)

③ 次世代まちづくり分科会 (構成人数：22 名)

2. 調査・研究等受託事業

下記の 4 件の調査・研究受託があり、これらの資金を使用した研究および指導によって多くの有益な成果が得られた。

1) 3次元データを活用したインフラ維持管理技術の研究開発 (2件)

2) ショッピングセンターにおけるハザードリスク分析

3) 局地的大雨に対応した事前通行規制基準の『時間的』『空間的』高度化にかかわる調査研究

以上のように、令和 6 年度も自主研究及び講演会等開催事業を積極的に実施するとともに公益的な受託研究活動を実施し、有益な多くの成果が得られた。また、当研究所のホームページ (<https://www.geosystem-research.com/>) を充実させて関連科学技術の普及に尽力した。

[4] 財務状況

令和 6(2024)年度の財務状況は別紙「令和 6 年度財務諸表」のとおりである。

以 上

令和 6 年事業年度においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成しておりません。